『読売新聞』2003年10月6日

君よ、国際社会のリーダーたれ。

大きく変動している国際社会の中で、日本は存在感を十分にアピールできているでしょうか。
グローバルな知の大競争時代に、日本の大学はどれだけ国際競争力を持っているでしょうか。
国際社会で存分に活躍し、リーダーシップをとれる人材の教育が十分なされているでしょうか。
これらの危機意識を克服するために、私たちは今、時代が求める「実学」教育を始めようと考えます。

私たちの大学は、従来の日本の大学にはない特徴を持った、きわめてユニークな大学になります。

■集中英語教育により実践的コミュニケーション能力を養成した上で、授業はすべて英語で行う
■米国及び中国の大学とプログラム提携を行い、1年間の海外留学を必修とする
■1学年の学生定員100名に対し、40数名の教員を配置するなど、チュートリアル方式による少人数教育を行う

この大学で学んだ学生は、世界に通用する教養と専門知識をしっかり身につけた国際人(Global Citizens)として、国際的な場面で英語で堂々と語ることが必ずできるようになります。

私は、国際教養大学をグローバル化の時代に対応した“現代の松下村塾”にしたいと考えています。
世界の変動を広い視野でとらえ、国境を越えた公共心を身につけて、何よりも知的世界において国際社会のリーダーシップをとれる人材を育てたい。
そんな思いを国際教養大学の教育に込めています。

広大な緑の森の中に誕生する新しいキャンパスは、多くの外国人教員、留学生が集う日常的な異文化空間となり、学生諸君は多様な価値観との出会いの中で、本当の自分を見つけ、大きく成長できるでしょう。

21世紀の日本の大学教育を変えるパイオニア的な役割を担う。
それが国際教養大学であり、私たちの望むところです。

新しい世界へのチャレンジ精神と夢と希望に満ちあふれた皆さん、ぜひ挑戦して下さい。

学長予定者
国際社会学者・前東京外国語大学長
中嶋　嶺雄

○創設準備委員会（国際教養大学は、次の委員が中心となり、創設を準備しています。）

創設準備委員		
委員長:	中嶋　嶺雄	アジア太平洋大学交流機構(UMAP)国際事務総長、前東京外国語大学長
副委員長:	グレゴリー・クラーク	多摩大学名誉学長
	明石　康	元国連事務次長
	生駒　俊明	東京大学名誉教授
	小野寺　清	秋田県教育長
	ジャネット・デインズ	ミネソタ州立大学機構国際教育部長
	菅原　洋	秋田県高等学校長協会会長
	須田　精一	秋田県電子工業振興協議会長
	紿田　英哉	国際交流基金日米センター所長
	ドン・ニルソン	元ミネソタ州立大学秋田校学長及び同校教授
	中津井　泉	リクルート「カレッジマネジメント」編集長
	野田　一夫	多摩大学名誉学長、初代宮城大学長
専門委員		
	鮎澤　孝子	東京外国語大学外国語学部教授
	村松　増美	同時通訳者、NPOえむ・えむ国際交流協会代表

※委員長及び副委員長を除き、あいうえお順に掲載しました。

○入学者選抜の概要

学部	課程	入学定員	募集人員					
			一般選抜			AO・高校留学生選抜Ⅰ	推薦入学	帰国子女特別選抜
			前期A日程	前期B日程	後期日程			
国際教養学部	グローバル・スタディズ(北米分野・中国分野)	100人	20人	40人	10人	15人	15人	若干名
		試験科目(配点)	国語(150点) 英語(200点) 地理・公民(100点)	国語(150点) 英語(200点) 地理・公民(100点) 数学(100点) 理科(50点)	英語(200点) 小論文(100点)	面接 / 小論文		
		出願期間	1月7日(水)～18日(日)		2月18日(水)～3月4日(木)	12月10日(水)～29日(月)	2月18日(水)～3月4日(木)	
	グローバル・ビジネス	試験日	2月1日(日)	2月14日(土)・15日(日)	3月20日(土)	1月7日(水)	2月14日(土)	
		試験地	秋田・東京 大阪・仙台	秋田・東京 大阪・仙台	秋田・東京 大阪・仙台	秋田	東京	
		関西地区試験会場	天満研修センター(大阪市北区錦町)	駿台予備学校大阪校(大阪府豊中市寺内)	駿台予備学校大阪校(大阪府豊中市寺内)	—	—	

※学生募集要項は、11月末から配付を開始する予定です。詳しい請求方法等は、事務局までお問い合わせください。

[公立大学]国際教養大学(英語名:Akita International University)の概要

秋田県が設立準備を進めている公立大学で、既存の枠にとらわれず社会の要請に即応できる柔軟な運営をするため、全国で初めての地方独立行政法人としてスタートする予定です。国際教養学部のみからなり、外国人が6割を超える教授陣により、授業はすべて英語で行われ、1年間の留学を必修としています。

学生は学部一括で募集し、1～2年次の基盤教育では、実践的英語力とコンピュータ・スキルおよび日本語力を身につけると共に、国際人の基礎となる教養を学びながら、徐々に自分の適性を見極め、2年次の終りにそれぞれの専門課程を選択します。

3～4年次の専門教育は2つの課程からなり、米国の大学の国際ビジネス・プログラムを導入したグローバル・ビジネス課程では、基本的理論を体系的に学ぶと共に、実践的ビジネス能力を養います。また、グローバル・スタディズ課程は、北米分野と中国分野に分かれ、地域研究を基礎に世界の多様な政治、経済、社会や文化、そして、これらの国々と日本の関係を中心とする国際関係を学びます。

さらに、留学生と日本人学生が共に学ぶ日本研究コースにおいては、日本の歴史や社会、文化などを総合的に学ぶ「日本学」の修得も可能なほか、異文化教育センターを設置し、外国語教育と東西文化の学術交流拠点となることを目指します。

〔主な開講予定科目〕

○基盤教育

英語集中課程(EAP=English for Academic Purpose　※学術目的のための英語スキル。大学での学習に不可欠なツールとしての英語力を身につけます。)
コミュニケーション科目／●スピーチ・コミュニケーションの基礎　●英作文Ⅱと図書館調査手法序論　●コンピュータ・リテラシー
グローバル科目／●社会学　●心理学　●文化人類学　●統計学　●芸術・芸術論(音楽と演奏)　●レクリエーション　●保健体育講義　●グローバル研究概論　●日米関係史　●異文化間コミュニケーション　●環境科学Ⅰ　●平和科学(紛争予防外交論)　●東洋思想文化　●文明論　●国際開発論　●国際協力・援助論　●日本語音声学　●日本文学　●日本の伝統芸能

○専門教育

グローバル・ビジネス課程／●会計学原理　●マクロ経済学　●企業財務　●国際ビジネス　●マーケティング原理　●企業戦略論　●国際財務マネージメント　●サプライチェーン・マネジメント　●起業家精神　●国際マーケティング論
グローバル・スタディズ課程／●北米研究概論　●東アジア研究概論　●アメリカ近・現代史　●アメリカの経済政策　●日本の対米政策　●中国政治経済　●華人経済論　●中国の民族文化概論　●国際報道論　●国際環境科学

2004年4月開学予定の公立大学　**認可申請中**

全部英語・留学必修

国際教養大学
Akita International University

大学の所在地　秋田県河辺郡雄和町奥椿岱193-2　※現在、改修工事中です。

お問い合わせ　秋田県企画振興部　国際教養大学設置準備事務局
〒010-8572 秋田市山王3丁目1-1
Tel.018-860-5451　Fax.018-860-5454

ホームページ　URL http://www.pref.akita.jp/gakujutu/kokusai.html
※「国際教養大学」で検索することもできます。